

尾鷲で定置網漁

居酒屋展開の「ゲイト」

東京で居酒屋13店舗
などを展開する「ゲイ
ト」(東京都墨田区)

が、尾鷲市須賀利町で
定置網漁に乗り出す。
同社や漁業関係者が9
日、漁の安全を祈願、
定置網漁船「八咫丸」
(8ト)を披露。須賀
利支店を開設し、年内

の操業開始を目標に準
備を進めている。

ゲイト社は、長島港
など県内の魚市場で魚
を仕入れているが、漁
業者や水揚げ量の減少
を実感し、自ら魚を取
ろうと考えたという。
同社の五月女圭一社長
(45)は「定置網はいろ

んな魚が取れる。普段
は東京まで流通しない
魚でも、おいしいもの
を店で提供したい」と
話している。

同社は昨年、熊野市
で廃業予定だった水産
加工場を事業継承し、
干物などを自社店で提
供している。

須賀利町は尾鷲市の
北部に位置する漁村。
かつては遠洋マグロ漁
業や養殖が盛んだった

が、過疎化が進み人口
は2388人、高齢化率
84・5%になってい
る。区長の山下良澄さ
ん(69)は「漁師が減っ
て空いている漁場を使
ってもらい、町の活性
化につながれば」と期

待する。
三重外湾漁協紀州支
所の三鬼晃常務理事
(76)は「漁業後継者が
減少する中、企業参加
も新たな形ではない
か」と話す。

【栗藤和治】



披露された漁船八咫丸とゲイトの五月女圭一社長
(左から3人目)ら。尾鷲市須賀利町で